



—令和4年10月26日（水）15:00～16:40 ニコニコこども館 3階研修室—

【実践発表】 熱海保育所

「子どもに育てたい資質・能力について」

～「生きる力」の基礎を培う保育・教育を考える～



熱海保育所の保育所像は「みんなと仲良く楽しい保育所」であり、0歳から就学前までの45名が仲良く過ごし、子どもに育てたい資質・能力を育てています。実践事例として、リズム遊びや食育について紹介されました。リズム遊びは毎週火曜日に実施しており、ピアノに合わせてウサギや両生類等になって全身を使った表現活動を行っています。食育では5歳児クラスが中心となり、野菜の栽培や給食の食材掲示を継続して実施しています。これらの活動は、幼児期の終わりまでに育ててほしい10の姿である、「健康な心と体」や「豊かな感性と表現」を育むことにつながり、クラスが一緒に行動することから「共同性」の育成にもなっています。

会場では、実際の教材や作品も展示されて、保育内容が目に見えてわかり、参加者からも大変勉強になったとの声が聞かれました。

【協議会】 グループ協議で発表に対する感想・意見交換が行われました。



☆ 熱海保育所の発表について

- ・異年齢児交流が図られており、お互いに助けあう姿が見られました。子どもたちの体力低下も懸念される中、リズム遊びの事例は大変参考となりました。順番を待つことや励ます気持ちも育まれていると感じました。
- ・子ども一人ひとりを尊重し、褒めて育てる保育士の姿勢は所属、校種に関わらずとても大事であることがわかりました。

☆ 子どもに育てたい資質・能力について

- ・施設全体で子ども達の良いところを認めてあげて、自己肯定感や自己有用感を持たせていくことが、より良い成長に繋がると思います。

☆ 気になる子の捉え方と指導のあり方

- ・就学に向けて、幼保小の連携を深めていくことや、保育要録の共通理解を図っていく。

《参加者からのアンケートから》

- ・熱海保育所の事例を見させていただき、今までの一年生の概念を取り払って、「何でも出来る一年生」という接し方をするのも大切かもしれないと感じました。（小学校：女）
- ・「担任が子どもの良いところを見つけたら桜の花びらカードに書き留めていくと、大きな桜の木となる」という事例、大変感激しました。自分も見習いたいです。（保育士：女）

「相互参観だより」は総合教育支援センターのウェブサイトにも掲載いたします。